

平成22年度 自殺対策街頭キャンペーン実施結果

自殺の問題を県民一人ひとりが身近な問題として考えるきっかけとなるよう、自殺対策啓発街頭キャンペーンを実施しました。

【実施日】 9月10日(金) ※世界自殺予防デー

【対象】 神奈川県民ほか(通行者)

【サイン】 統一のノボリ、服装の色の統一(ベスト、Tシャツ、タスキ)

実施機関	場所	時間帯	配布部数	配布グッズ	実施体制
神奈川県	JR大船駅	17:20～ 17:40	1,000部	・リーフレット(かながわ自殺対策会議作成) ・ポケットティッシュ ・自殺対策シンポジウムのちらし 上記3点のセット ・うちわ(自殺対策シンポジウム広報用・800枚)	合計32人 ・かながわ自殺対策会議委員等 8人 神奈川県司法書士会 6人 神奈川新聞社 1人 県教育委員会 1人 ・いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会委員 3人 ・行政関係 21人(副知事・保健福祉局長ほか)
横浜市	JR横浜駅中央通路	14:00～ 14:40	4,000部	・リーフレット(かながわ自殺対策会議作成) ・ポケットティッシュ ・自殺予防週間特別相談会ちらし	合計28人 ・かながわ自殺対策会議委員等 15人 神奈川県司法書士会 4人 横浜いのちの電話 10人 県教育委員会 1人 ・自死遺族(自死遺族の集い参加者)2人 ・行政関係 11人
川崎市	JR川崎駅	10:00～ 11:00	3,000部	・リーフレット(かながわ自殺対策会議作成) ・ポケットティッシュ ・第35回日本自殺予防シンポジウム(こころの健康セミナー)のチラシ	合計29人 ・かながわ自殺対策会議委員等 6人 神奈川県司法書士会 3人 神奈川新聞 2人 連合神奈川 1人 ・川崎いのちの電話 10人 ・行政関係 13人(副市長、障害保健福祉部長ほか)
相模原市	①JR橋本駅 ②小田急相模大野駅 ③JR相模原駅	①8:30～ 9:30 ②10:30～ 11:30 ③16:30～ 17:30	3,000部	・リーフレット(かながわ自殺対策会議作成) ・リーフレット(相模原市作成) ・ポケットティッシュ ・相模原市自殺予防専門電話相談周知シールを貼ったカラーおしぼり	合計105人 <i>市長参加</i> ・かながわ自殺対策会議委員等 6人 神奈川県司法書士会 4人 連合神奈川 1人 神奈川新聞社 1人 ・行政関係 33人 ・その他 相模原地域産業保健センター 3人 地区社会福祉協議会 21人 地区民生委員児童委員協議会 24人 市内スポーツ団体(3団体) 18人

	かながわ自殺対策会議 委員関係者 参加内訳						その他		計
	神奈川県司法書士会	横浜いのちの電話	連合神奈川	県教育委員会	神奈川新聞	自死遺族総合支援センター	川崎いのちの電話	地域産業保健センター(相模原、津久井)	
JR横浜駅	4	10		1		2			17
JR川崎駅	3		1		2		10		16
JR大船駅	6			1	1				8
JR橋本駅	1							1	2
JR相模原駅	2		1		1			1	5
小田急相模大野駅	2							1	3

※県所管域(市町村)では、9月中に21ヶ所で実施しました。

【部会委員からの感想・課題】

- ・活動が定着したと心強く思った。
- ・初めてでなかなか声が出なかった。地道にやっていくことが大切。
- ・きっかけは何であれ、まずは受け取ってくれることが大切。昨年よりは受け取ってもらえたように思う。
- ・昨年時、首長参加が目されやすいとの課題あり。波及効果も高いので首長の参加を是非調整を。
- ・報道機関がもう少し取り上げてくれればよかった。→ 県が4県市分まとめてプレス。神奈川新聞(3エリア)に掲載。
- ・人と物は揃ってきた。今後数を増やしていくかなど検討を。